

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成18年1月26日(2006.1.26)

【公表番号】特表2005-520835(P2005-520835A)

【公表日】平成17年7月14日(2005.7.14)

【年通号数】公開・登録公報2005-027

【出願番号】特願2003-577251(P2003-577251)

【国際特許分類】

C 07 D 207/44 (2006.01)

C 07 D 207/325 (2006.01)

C 07 D 207/34 (2006.01)

C 09 B 47/10 (2006.01)

C 09 B 57/00 (2006.01)

G 11 B 7/244 (2006.01)

B 41 M 5/26 (2006.01)

【F I】

C 07 D 207/44

C 07 D 207/325

C 07 D 207/34

C 09 B 47/10

C 09 B 57/00 Z

G 11 B 7/24 5 1 6

B 41 M 5/26 Y

【手続補正書】

【提出日】平成17年12月5日(2005.12.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

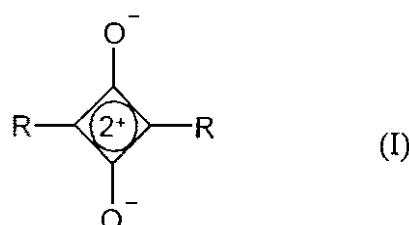
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

式I

【化1】



[式中、

Rは複素環式5員環を表し、その際、アミノ置換されたフラン環は除かれる]に相応するスクアリリウム化合物。

【請求項2】

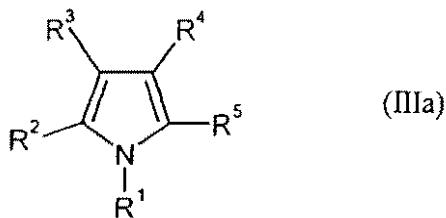
請求項1記載のスクアリリウム化合物の製造方法において、3,4-ジヒドロキシ-3

-シクロブテン-1,2-ジオン(スクエア酸)を式III

R-R<sup>5</sup> (III)

の化合物、特に式(IIIa)の化合物

【化2】



[式中、

R<sup>5</sup>は水素、エトキシカルボニルまたはカルボキシルを表し、かつR<sup>1</sup>～R<sup>4</sup>は上記のものを表す]のピロール化合物少なくとも1種と反応させることを特徴とする、請求項1記載のスクアリリウム化合物の製造方法。

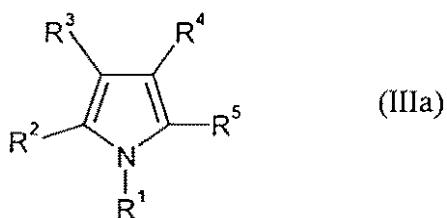
【請求項3】

ライトワنس型光データキャリアの情報層における吸光性化合物としての請求項1記載のスクアリリウム化合物の使用。

【請求項4】

式(IIIa)

【化3】



[式中、

R<sup>1</sup>は置換されていてもよいC<sub>3</sub>～C<sub>12</sub>-アルキルまたは置換されていてもよいアラルキルを表し、

R<sup>2</sup>は置換されていてもよいアルキル、置換されていてもよりアリール、アルコキシカルボニル、カルボニルまたは置換されていてもよいアルキルカルボニルを表し、

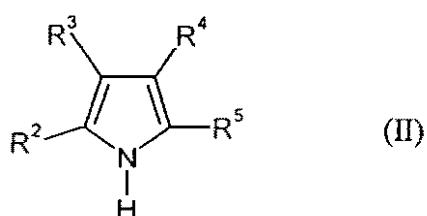
R<sup>3</sup>およびR<sup>4</sup>は相互に無関係に水素、置換されていてもよいアルキル、置換されていてもよいアリール、アルコキシカルボニル、カルボニルまたは置換されていてもよいアルコキシカルボニルを表し、かつ

R<sup>5</sup>は水素、アルコキシまたはカルボキシルを表す]のピロール。

【請求項5】

請求項4記載の式(IIIa)のピロールの製造方法において、式(II)

【化4】



[式中、

R<sup>2</sup>～R<sup>4</sup>は式(IIIa)のピロールに関して請求項4に記載したものを表し、かつ

R<sup>5</sup>は水素、アルコキシカルボニル、特にt-ブトキシカルボニルまたはエトキシカルボニルまたはカルボキシルを表す]のピロール化合物を式IV

R<sup>1</sup>-X (IV)

[式中、

R<sup>1</sup> は式 I I I a のピロールに関して請求項 4 に記載したものを表し、

X は C l 、 B r または I を表す] のハロゲン化合物および少なくとも 2 当量の塩基と反応させることを特徴とする、請求項 4 記載の式 ( I I I a ) のピロールの製造方法。

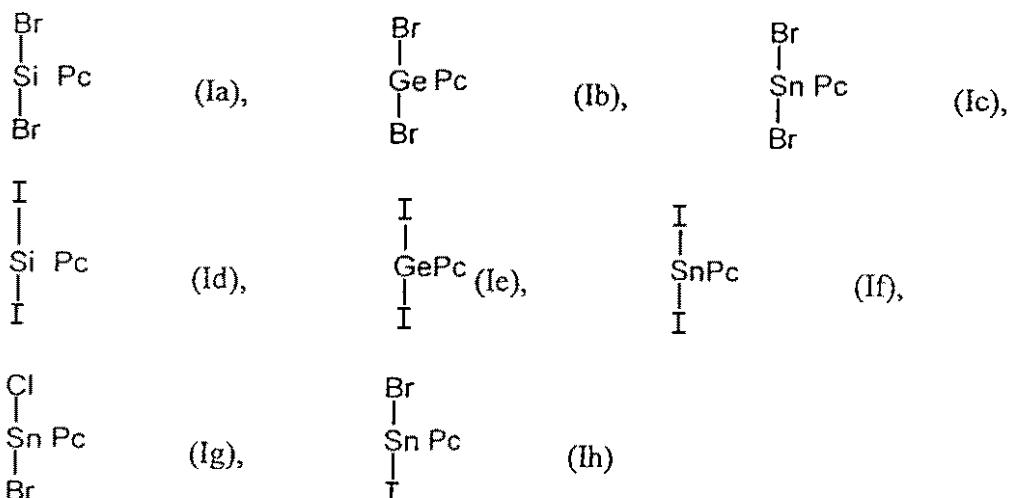
【請求項 6】

有利に透明な基板を有し、該基板の表面上に光により書き込み可能な情報層、場合により 1 つもしくは複数の反射層およびもう 1 つの基板または保護層が施与されており、赤色光、有利にはレーザー光により書き込みおよび読み取り可能であり、その際、情報層は吸光性化合物を含有する光データキャリアにおいて、吸光性化合物として請求項 1 記載の少なくとも 1 種のスクアリリウム化合物を使用することを特徴とする、光データキャリア。

【請求項 7】

請求項 1 記載の化合物を含有する光データ記録媒体において、吸光性化合物として少なくとも 1 つの式 ( I a ) 、 ( I b ) 、 ( I c ) 、 ( I d ) 、 ( I e ) 、 ( I f ) 、 ( I g ) および ( I h )

【化 5】

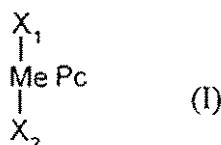


のフタロシアニンに相応する、請求項 1 記載の化合物を含有する光データ記録媒体。

【請求項 8】

光記録媒体の情報層における吸光性化合物としての、式 ( I )

【化 6】



[式中、

M e は S i 、 G e および S n の群からの軸方向で二置換された金属原子を表し、

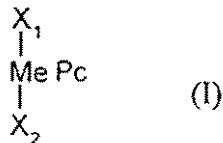
P c は非置換のフタロシアニンを表し、かつ

X<sup>1</sup> および X<sup>2</sup> は相互に無関係に臭素またはヨウ素を表し、かつ X<sup>1</sup> は付加的に塩素を表してもよい] のフタロシアニンの使用。

【請求項 9】

光記録媒体を製造するためのフタロシアニン

## 【化7】



[式中、

M e は S i、G e および S n の群からの軸方向で二置換された金属原子を表し、

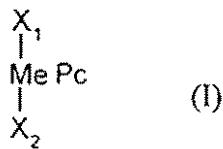
P c は非置換のフタロシアニンを表し、かつ

X <sup>1</sup> および X <sup>2</sup> は相互に無関係に臭素またはヨウ素を表し、かつ X <sup>1</sup> は付加的に塩素を表してもよい] の使用。

## 【請求項10】

式 (I)

## 【化8】



[式中、

M e は S i、G e および S n の群からの軸方向で二置換された金属原子を表し、

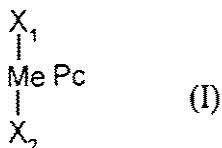
P c は非置換のフタロシアニンを表し、かつ

X <sup>1</sup> および X <sup>2</sup> は相互に無関係に臭素またはヨウ素を表し、かつ X <sub>1</sub> は付加的に塩素を表してもよい] のフタロシアニンにより基板を被覆する方法。

## 【請求項11】

青色の光、特にレーザー光により、とりわけ有利には 3 6 0 ~ 4 6 0 nm の波長を有するレーザー光により書き込まれた、有利に透明な、場合によりすでに 1 つもしくは複数の反射層により被覆された基板を有し、該基板の表面上に光により書き込み可能な情報層、場合により 1 つもしくは複数の反射層および場合により保護層またはもう 1 つの基板またはカバー層が施与されており、青色の光、有利にはレーザー光により、特に有利には 3 6 0 ~ 4 6 0 nm、特に 3 8 0 ~ 4 2 0 nm、とりわけ有利には 3 9 0 ~ 4 1 0 nm の波長を有する光により、または赤外光、有利にはレーザー光により、特に有利には 7 6 0 ~ 8 3 0 nm の波長を有する光により書き込みおよび読み取り可能であり、その際、情報層は吸光性化合物および場合により結合剤を含有する光データキャリアであって、吸光性化合物として少なくとも 1 種の式 (I) ]

## 【化9】



[式中、

M e は S i、G e および S n の群からの軸方向で二置換された金属原子を表し、

P c は非置換のフタロシアニンを表し、かつ

X <sup>1</sup> および X <sup>2</sup> は相互に無関係に臭素およびヨウ素を表し、かつ X <sup>1</sup> はさらに塩素を表してもよい] のフタロシアニンが使用されている光データキャリア。